

マーク&ペティバクラ 内面の癒やし集会 Seminar Guide

神様とのわり  
God 交  
Communionwith.....

マーク&ペティ バクラ

## 歓迎します。

神様との交わり (Communion With God) セミナーにいらっしゃったことを歓迎いたします。私たちが共に分かちあうこの時間の中で、父なる神様と対話をするだけでなく、毎日神様との親密な関係を築いていくための方法を学べるようになるでしょう。父なる神様がどんなに皆さんとお話することを喜ばれるかを深く悟るでしょう。主と心の底にある人生の話をしなが、イエス様が皆さんの最も親しい友となるでしょう。皆さんの霊の癒しと創意力と油注ぎを注いでくださる聖霊様が皆さんのうちにおられることを更にもっと認識することでしょう。

神様との親密さを体験するこのセミナーは皆さんの参加を必要とします。講師が御言葉を伝える時に、この workbook に記録をして、また御言葉を終えた後は、教えたその真理を適用し、体験する時間を持ちたいと思います。皆さんの心にある神様の御声を知り、その方がどんな言葉を語られるのかを書き記す時間となると思います。そして、皆さんが本当に神様の御声を聞いたことを確認するために、二、三人と皆さんの体験をそれぞれ分かち合う時間を持ちたいと思います。終わりに皆さんが受けて書いたものを全体のグループと分かち合う時間もあります。その時、望まない方は無理にその場所に参加されなくても結構です。しかし、神様が他の人に与えたその御言葉を分かち合うことによって皆さんが多くの祝福を受けるでしょう。

このセミナーはただの始まりに過ぎません。このセミナーに参加される方はほとんどが皆主から何かを受けます。

しかし、神様は皆さんと毎日対話することを願っておられます。神様があなたと共におり、常にあなたを愛し、導き、あなたのために働いておられることを知り、自分を静めて、自分の力で頑張ることを止めるのを待っておられます。そして神様との関係にあって、次の段階へ進むために付属コースを選ばれることを願います。そのコースで受ける励ましと協力と導きが、このセミナーで受けたものを、イエス様のように神様が導かれる人生を、毎日のライフスタイルに適用するところに根ざしてくれるでしょう。

肉の耳と霊の耳で聞く準備をして下さい。

肉の目と霊の目で見ると準備をして下さい。

笑って、泣いて、書き留めて、変わる準備をして下さい。

マク&ペティバクラ



## 四 神様の御声を聞く つのカギ探し

ハバククの例をあげるならば

私は、見張り所に立ち、とりでにしかと立って見張り、主が私に何を語り、私の訴えに何と答えるかを見よう。主は私に答えて言われた。幻を板の上に書いて確認せよ。これを読む者が急使として走るために。

(ハバ2:1-2)



カギ1. 私は、見張り所に立ち

6



カギ2. 見よう

20



カギ3. 何と答えるか

24



カギ4. 主は言われた。「幻を書き記せ。」

37

## キリスト教の霊性とニューエイジの霊性の違い

・根本が異なる ・目的が異なる ・過程が異なる



クリスチャンはイエスキリストを信じて、聖霊様の助けによる神様との出会いを目的とする。ニューエイジは麻薬や霊媒師や呪文を通して悪い霊と出会い、霊の悟りを目的としている。従って、似ているように見えるが詳しく観察すると大きな違いがある。

神様の御声を聞く聖書の指針(※自身の人生に適用されるところにのしつけましょう。)

- ( ) 私は新生されたクリスチャンとして、私自身のために生きることを放棄し、カルバリのイエスの血潮によって聖くされる救いの力を信じます。
- ( ) 私は聖書が偽りのない神様の御言葉であることを信じます。
- ( ) 私は新約についての基本知識を持っており、全聖書を学ぼうとしています。
- ( ) 神様が御言葉を通して示されたことに従順します。
- ( ) 地域教会のキリストの体と連結しており、霊的指導者のもとにいます。

今受け入れたクリスチャンだとしても上の条件を備えることができる。新約をすべて読むのには一日半程度あればできる。残りの条件は対話を通して分かち合うことができる。初信者が信仰生活の初期から神様と交わりができたならどんなに良いだろう？彼らのたましいが長い間待ち望んだ安息と平安を受けられるだろう。

- ( ) 上の五つの条件がすべて揃っていますか？
- ( ) まだ全部備えてはいないけれどもこれから5週のうちに解決しようと思います。
- ( ) 上の五つの条件を備えておらず、計画もないのでこのセミナーが難しくなると思います。

## 霊的な指導者は保護膜となってくれます。

(ギリシャ語: ペイトpeitho - 自分の意見を変える意向がある) あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならないからです。(ヘブ13:17)

指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。(箴11:14)

神様は霊的な指導者を保護膜として立てて、私たちの心の自己錯覚はもちろん、サタンからの攻撃から私たちを守ってくださいます。

### 霊的指導者の条件

- 1.身近な友: 羊を知り、羊の声を知る者
- 2.確かな聖書的理解を持つ者
- 3.自分の心から聖霊の声を聞く人
4. 時間とエネルギーをささげ、任された羊のために命をも差し出せる者
- 5.自身が他の人の指導を受ける者

### 主要決定とは？

主要決定は一人の人生、ミニストリー、職場、財政状況に数年掛けて影響を及ぼす変化をもたらす決定である。主要決定を下す前に、霊的指導者に指導を求めるほうが良い。

また、神様の御声を聞き、記録した内容と預言を指導者に見せて、自分が神様の御声を確かに聞いているという確信を持つための助けを求める。

神様があらゆる権威の上におられることを知り、(ロマ13:1) 王の心も主の御手にかかっているということを知るべきである。(箴21:1) 目上の人のために祈るとき( I テモ2:1-4) 人の不完全さを用いて神様の完全さを成し遂げられるということを信じる。

### 霊的指導者が何名必要なのか？

私があなたがたのところへ行くのは、これで三度目です。すべての事実は、ふたりか三人の証人の口によって確認されるのです。( II コリ13:1)

### 主が私たちの周囲に霊的指導者としてすでに立ててくださった人たち

親、配偶者、使用者(雇われ人)、牧師、長老、日曜学校教師など  
異性(sex)の霊的相談者とあまり近い関係を持つことは望ましくない。

これは牧会者 (Shepherding) 運動とどのように違いますか？

イエス様は権威を用いるに当たって、異邦人たちのように治めようとしないうようにといわれました。ただ愛によって互いに仕えなさいといわれました。愛の道には**掌握**、**脅し**、**調整**は絶対に禁じます。( I ペテ5:1-6)

私たちが追い求める関係の中心は友情であり、権威ではありません。

従順とは自身の内面にある神様の御声に耳を澄ませて分別する責任を果たしながら、聖霊が導く霊的指導者と他の人の教えに耳を傾けることです。

神様があなたの人生に霊的指導者としておかれた人たちの名前を書いてみましょう。

- 1.
- 2.
- 3.

目上の人から傷を受けたことがありますか？

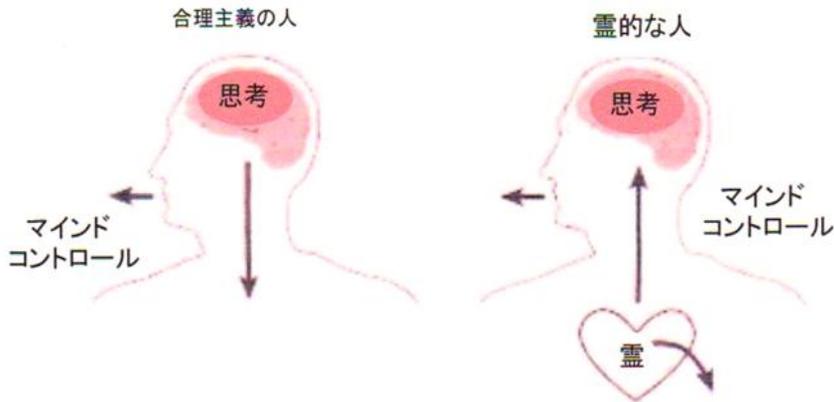
神様がその傷を癒やしてくださいましたか？

まだ傷が癒やされていないならば、信頼できる友人の一人と一緒に祈り、主が癒やしの道へと導くよう、待ちましょう。

## 霊的親密の神学的背景

思い(mind)と霊(spirit)( I コリ1:18-2:16)

墮落した考えは合理主義の中にある。



合理主義とは: 宗教的真理を立てることに理由及び土台となる論理が知識の源であるという主張である。

### 合理的なキリスト教

倫理規範

律法

行い

頭の知識

神学

外部の導き

自身の力

意識的レベル

### 霊的なキリスト教

内面の力

父との親密

愛の関係(花婿花嫁)

啓示された真理

霊的な出会い

内面の感動

合わされた力

夢、幻、交わり

霊が人生の中心にあれば、その霊が私の思いと言葉を決定する。

知識が霊から霊に伝達することを信じる。

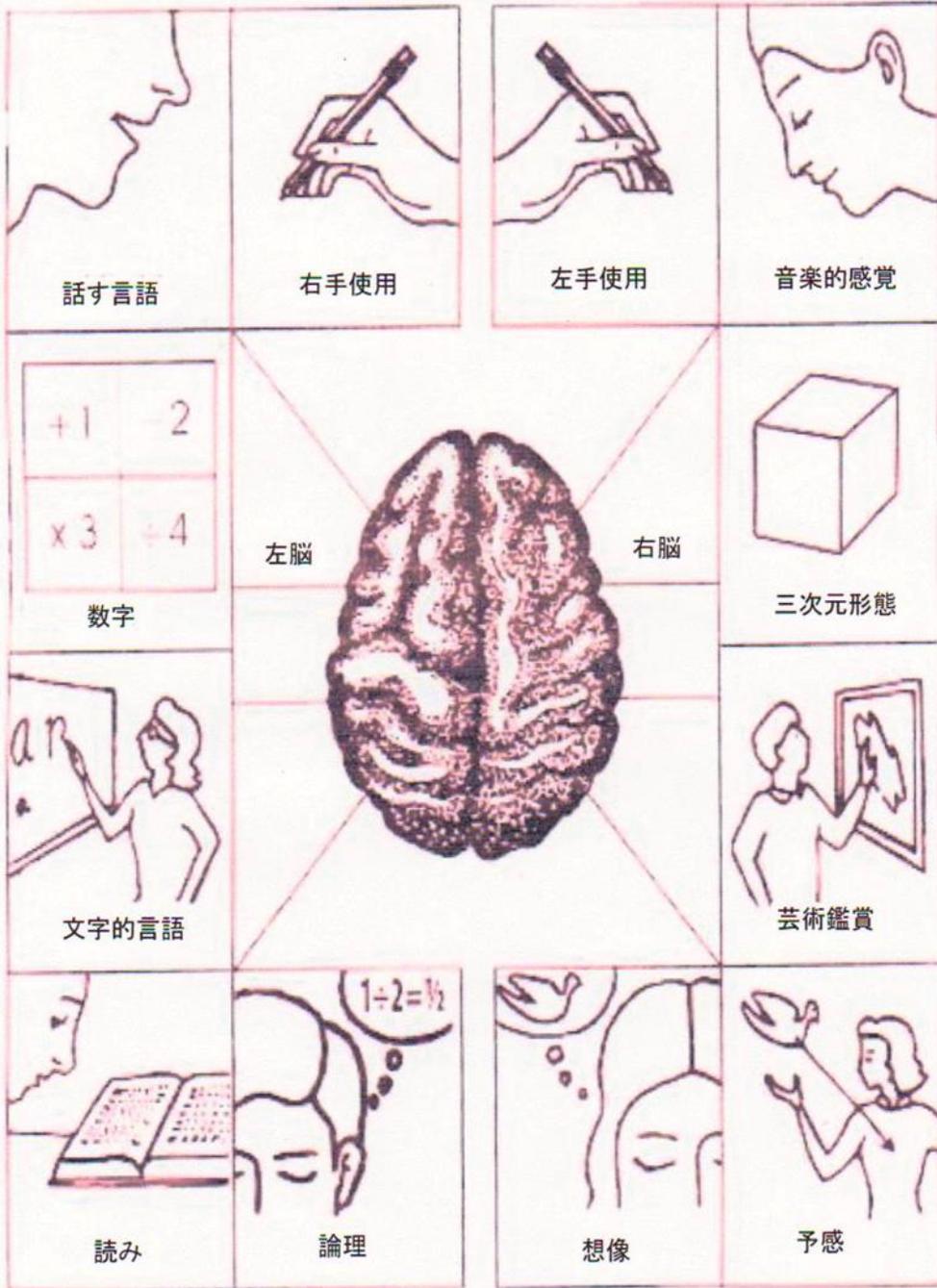
まさしく、聖書に書いてあるとおりです。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。( I コリ2:9-10)

・神様は私たちの考えと心を神様にささげ、それ神の思いで満ちし、私たちを通して働かれるようになることを願っておられる。聖書の黙想をするおとにより、聖霊が論理へと導き、心に啓示を与えて下さるのである

イエス様は神様の導きが人々の心と考えを治めるようにさせた。(ヨハ5:19) 私たちもそのようになるべきである。私たちが新約の人物たちと同じようになったとき、完全に回復し、釣り合いが取れるでしょう。

## 靈的親密さの科学的背景

### 左脳と右脳の機能



## 霊的親密は神様の願いである。

主要点: 霊的交わりが神様のもっとも深い願いであるというビジョンを持つべきである。

### 1. 創造

そよ風の吹くころ、彼らは園を歩き回られる神である主の声を聞いた。それで人とその妻は、神である主の御顔を避けて園の木の間に身を隠した。(創世記3:8)

### 2. イスラエル国家

「これらのことばを、主はあの山で、火と雲と暗やみの中から、あなたがたの全集会に、大きな声で告げられた。このほかのことは言われなかった。主はそれを二枚の石の板に書いて、私に授けられた。一中略一5:31「しかし、あなたは、わたしとともにここにどまれ。わたしは、あなたが彼らに教えるすべての命令おきてと定めを、あなたに告げよう。彼らは、わたしが与えて所有させようとしているその地で、それを行なうのだ。」(申命記5:22~31)  
そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた。」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。(ヤコブ2:23)

### 3. ダビデ

それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心になかった者で、わたしのところを余すところなく実行する。』使徒13:22

### 4. イエス様-神様の満ち満ちたさまを現す。

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。(ヨハ17:3)

## 5. マリアとマルタ

さて、彼らが旅を続けているうち、イエスがある村にはいられると、マルタという女が喜んで家にお迎えした。(ルカ10:38)

## 6. パウロ

私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり(ピリ3:10)

## 7. 私たち「あなたがたは語っておられる方を拒まないように注意なさい。」

18 あなたがたは、手でさわれる山、燃える火、黒雲、暗やみ、あらし、19 ラッパの響き、ことばのとどろきに近づいているわけではありません。このとどろきは、これを聞いた者たちが、それ以上一言も加えてもらいたくないと願ったものです。20 彼らは、「たとい、獣でも、山に触れるものは石で打ち殺されなければならない。」というその命令に耐えることができなかったのです。21 また、その光景があまり恐ろしかったので、モーセは、「私は恐れて、震える。」と言いました。22 しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。23 また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、24 さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。25 語っておられる方を拒まないように注意なさい。なぜなら、地上においても、警告を与えた方を拒んだ彼らが処罰を免れることができなかったとすれば、まして天から語っておられる方に背を向ける私たちが、処罰を免れることができないのは当然ではありませんか。26 あのとときは、その声が地を揺り動かしましたが、このたびは約束をもって、こう言われます。「わたしは、もう一度、地だけではなく、天も揺り動かす。」(ヘブ12:18-26)

## 8. 永遠

私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。小羊の婚姻の時に来て、花嫁はその用意ができたのだから。(黙19:7)

神様は私たちと愛の関係を持つことを最高の目的として私たちを創造された。

## 私の愛する者に書く手紙

練習: イエス様の手紙を書いて答えを待ちます。あなたがありのままの心と愛をイエス様に告白する時、即興的な思いと考えが来るでしょう。

神様があなたに、その方の愛を語っていらっしゃるかもしれない。としたら、その即興的に感じ取った思いを書きとめてください。この手紙が交流する手紙となります。



カギ1

## 神様の御声を内面の声で知る方法

\*神様のレーマの声は即興的思い、単語、気持ちや幻で感じられる。

-精神から来る思いは論理的である。

-心から来る思いは即興的である。

-聖書を黙想することは論理的、即興的なものを合わせたことである。

### 即興的考えが霊的世界から来ることについての聖書的ささえ

1.すべての考えがみな私たちの考えではない。

私たちは肉にあつて歩んではいても、肉に従って戦ってはいません。私たちの戦いの武器は、肉の物ではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らつて立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ(Ⅱコリ 10:3-5)

2.パカ-「瞬間の出会い」

とりなしの祈りを意味するヘブル語は「パカ」である。パカの本来の意味は偶然たたく、或は火が付くこと、または思考的交差である。

3.聖霊の川が聖徒の心に流れる

さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は聖霊が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ注がれていなかったからである。(ヨハ7:37-39、キングゼイムス)

4.ナバ、預言者を意味するヘブル語で「鈴が浮んで来る」という意味がある。

	本当の預言	偽預言
ヘブル語原語	ナービー-Nabi	ジイド Ziyd
原語の意味	浮ぶ	湧いてくる
解釈	預言が浮かぶ 預言が溢れる	預言が湧いて来る 預言が料理されて出て来る
適用	目をイエス様に集中し 即興的流れに合わせる	自身の欲望に集中し 言葉や幻を作る

5. 私たちは聖霊の宮です。

あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。( I コリ6:19)

6. 信じる者の霊が聖霊と一致する。

しかし、主と交われれば、一つ霊となるのです。( I コリ6:17)  
人間の息は主のともしび、腹の底まで探り出す。(箴20:27)

7 私たちはぶどうの木に接ぎ木された枝です。

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。(ヨハ15:5)

### 即興的思いが霊的世界から来ることについての別の後ろ盾

1. 創意的で即興的な思い
2. 破壊的で即興的な思い

次の指針は神様の思いがあなたの心に照らされることを知るのに助けとなるでしょう。

1. 自分の思いと似ているようだが、意識的でも論理的でもなく、即興的なのであたまではなく、心から来る思い。
2. 神様が一人称でおっしゃっているように感じる。
3. 私自身が集中しようとすると思いが途絶える、軽くてやさしい思いである。
4. 私自身の一般的思いよりもさらに賢明的で、愛に満ち、他人のためになるのが動機である。
5. 私自身が特別な反応を見せる。(興奮、感動、信仰、いのち、敬意、平和)
6. その思いを行動に移そうとする時、力が伴い、喜びも伴う。
7. 霊的感覚が時間が過ぎるにつれて訓練される。神様の御声を聞くことがさらにやさしく、頻繁になる。
8. 覚えてください。神様は常に語っておられ、私たちはその方が与える思いを受けます。自分の思いと区別できなければ、ただみんな自分の思いというふうにおおざっぱにまとめて取り扱ってしまいます。その方の御声を分別することは即興的な思いと自分の精神から来る論理的な考えを分別するということです。

M · E · M · O

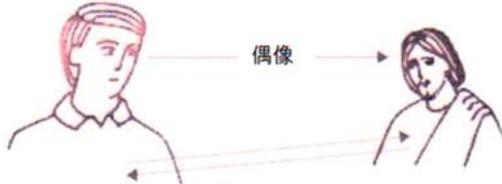
### 個人に適用-霊的日記練習

この霊的日記を書くことに5-10分を割いてください。主に聞きたい質問をしてください。自分の人生でもっとも深い傷とか、衝撃的なことでない限り、どんな質問でもしてください。(そのような質問は私たちが神様の御前に出て行く時に備えるべき静けさの聖書的姿勢(詩篇46:10)を取るのに妨げとなる、緊張感を与えます。)(例)・主よ、私を愛しますか。・主は私をどのように思っているでしょうか。・私におっしゃる言葉がありますか。・今起きているある状況について聞かれるとか。・このセミナーの真実さについて聞きたいことがある等。どんな質問でも構いません。少し時間を作って質問を決めて書いて後にイエス様に集中をして、あなたの中で浮かぶ思いを記録してください。

「やめよ。わたしこそ神であることを知れ。わたしは国々の間であがめられ、地の上であがめられる。」(詩篇46:10)

### 心に偶像を持って祈る時(エゼ14:4)

偶像を持って祈ると、「それ」がイエス様よりもさらに強くあなたの意識とビジョンの中に根付いてしまいます。偶像を通して返って来た答えは「はい」である。



偶像なしに祈ると: 祈りの題目であるそれよりも、イエス様がもっとあなたの心に根ざしているため、イエス様を通して来た答えは「いいえ-注意」である。



それゆえ、彼らに告げよ。神である主はこう仰せられると言え。心の中に偶像を秘め、不義に引き込むものを自分の顔の前に置きながら、預言者のところに来るすべてのイスラエルの家の者には、主であるわたしが、その多くの偶像に応じて答えよう。(エゼ14:4)

原理: 人の目に映る幻から直感が流れ出る。

(例)民22:15-35のパラム-探してみてください。

M・E・M・O



### 主の前で自分の心を静めなさい。

「やめよ。わたしこそ神であることを知れ。わたしは国々の間で  
あがめられ、地の上であがめられる。」(詩46:10)

#### 外部の雑音を無くすこと

- 1.
- 2.
- 3.

#### 内面の雑音を取り除く方法(声、思い、圧迫感)

問題	答え
やるべき事	忘れないように書いておく
罪の意識に捕らわれる	罪を自白し、義の衣を着る
散漫な思い	イエス様の姿に集中する
自分の心に執着	賛美して、心から即興的に流れ出る歌を聞く
思いが静まってからも交わり に多くの時間がかかる。	運転、入浴、運動などの日常活動をしながらも 神様の御声を聞くことができる。

#### エリシャとダビデはどのように自分を静めたのか。

聖書で登場する偉大な預言者たちは神様との交わりの流れをつかもうと  
したとき、何をしたのかを調べることは私達にとって興味深いことである。  
(例) II 列3: 15-16に、エリシャが神様から預言的なことばを  
聞こうとした時、このように語られた。

しかし、今、立琴をひく者をここに連れて来てください。立琴をひく者が立  
琴をひき鳴らすと、主の手がエリシャの上に下り、彼は次のように言った。  
主はこう仰せられる。『この谷にみぞを掘れ。みぞを掘れ。』(II 列3:15-16)

私たちはエリシャが外側での論理を遠ざけて、内面から浮んでくる  
神様の御声を聞くのを助けるために音楽を使用したのを知ることが  
できる。私たちの外面的論理は左脳の活動であり、直感と

音楽は右脳の活動だというのが興味深い。

左脳が支配する論理的思考から抜け出して、右脳が支配する直感を発達させたければ、エリシャがしたように、音楽(右脳をとおして作用する)を用いることをお勧めする。それにより、音楽が左脳活動から右脳活動へ転換するだろう。これは、やさしく、簡単で、聖書的である。

もちろんダビデも自分を静めるために音楽を用いていた。文書化された祈禱文である詩篇も音楽に合わせて作られている。私の助けとなるのは王の王に静かに愛の歌を歌って、その歌詞の情景をイメージ化してみる。(絵も右脳の活動だ。)このようにすることによって、私自身が私の心から流れる直感的流れに乗って、私の主から来る大切な言葉を書き始めます。

### 私のたましいが静まっているかを知る方法

自分がどの状態にいるのかを表示しましょう。

黙想は聖書で進める訓練であり、次の黙想姿勢もまた聖書にあります。

肉体的 平安	0	1	2	3	4	肉体的硬直
<p>・肉体的平安を勧める聖句</p> <p>したがって、安息日の休みは、神の民のためにまだ残っているのです。神の安息にはいった者ならば、神がご自分のわざを終えて休まれたように、自分のわざを終えて休んだはずです。ですから、私たちは、この安息にはいるよう力を尽くして努め、あの不従順の例にならって落後する者が、ひとりもないようにしようではありませんか。(ヘブ4:9-11)</p> <p>また、わたしの安息にはいらせないと神が誓われたのは、ほかでもない、従おうとしなかった人たちのことではありませんか。それゆえ、彼らが安息にはいれなかったのは、不信仰のためであったことがわかります。(ヘブ3:18-19)</p>						

集中された状態	0	1	2	3	4	散漫な状態
<p>・精神集中を勧める聖句</p> <p>こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。(ヘブ12:1-2)</p> <p>そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません。父がなさることとは何でも、子も同様に行なうのです。(ヨハ5:19)</p>						

M・E・M・O

## 許可 過剰操縦

0 1 2 3 4

## ・委ねることを勧める聖句

「やめよ。わたしこそ神であることを知れ。わたしは国々の間であがめられ、地の上であがめられる。」(詩46:10)

何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

(ピリ4:6-7)

## 受動的 活動

0 1 2 3 4

## ・受容することを勧める聖句

わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

(ヨハ15:4-5)

## 即興的 流れ 論理的 思考

0 1 2 3 4

## ・即興的流れを勧める聖句

わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ注がれていなかったからである。(ヨハ7:38-39)

## 静けさの諸要素

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.

## 適用-日記を書く練習

主よ、静まったたましいについて話してください。私のたましいが静まるのにどんな道がもっとも効果的でしょうか。たましいを静めるにあたり、主はどのようにお考えですか。

上の質問に対して自分の意見を書いてみましょう。心を楽にして、福音書の一場面のように、イエス様と一緒にガリラヤ湖を歩くことや、ユダヤの野原を歩くことを想像してみてください。主を見上げてください。その方の愛と哀れみ、そしてその方が私とともにいることのゆえに喜び、興奮しているのを想像してみてください。笑ってください。子どものように、その方の手を握ってください。聖霊様が導かれる通りに場面が変わるようにしましょう。即興的感覚で敏感に聞いて、主が与える答えを書き留めてください。受けている間は疑わないでください。子どものような単純な信仰で受けてください。その流れが終わってからも試す機会は十分にあります。

M · E · M · O

M・E・M・O



カギ3

## 祈りながら幻を見る

### 主な聖書箇所

仰せられた。「わたしのことばを聞け。もし、あなたがたのひとりが預言者であるなら、主であるわたしは、幻の中でその者にわたしを知らせ、夢の中でその者に語る。(民数記12:6)

私たちの父祖アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。御民のその心に計る思いをとこしえにお守りください。彼らの心をしっかりとあなたに向けさせてください。(I 歴代29:18)

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行うのです。(ヨハ5:19)

『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。(使徒2:17)

**夢と幻と預言者についての聖句が383句もあります。**

聖句辞典索引で夢、幻、見る、探る、目について調べた。

## 適用

1-2週間にわたって、上記の聖句を学んでください。神様に以前見ることが出来なかった部分について理解と啓示によって悟らせてくださるよう祈りながら学んでください。自分が発見したところを記録しましょう。神様がどのように夢と幻を用いるのか、神学の聖書的基礎を作るのに助けとなるでしょう。

夢と幻と想像について、聖書的理解なしに、多くのクリスチャンたちは、心の目を使用することを否定的に見ています。主に、心の目を用いることについて、神様の願っておられることが何かを考えないで、ただニューエイジ活動とみなします。もし、あなたがこのような意見をもっていたのならば、聖書的考察なしにこのような偏見を持ったことを悔改めることを願います。

私たちが心の目を用いることについて、神学的立場を持ちましたか。  
心の目の肯定的使用を教える聖書箇所を少なくとも25-50箇所 祈りながら黙想してみましたか。

M・E・M・O

## 幻のいろいろな種類

1. 心の中の画面に映された即興的幻
2. 祈る時の即興的幻
3. 自分の外側で見る幻
4. 入神(霊の深いところに入った)状態での幻
5. 夢の中の幻

上記のいろんな種類の幻はみな正当であり、霊的だ。すべての幻は徹底的に検討され、熟考されるべきである。

幻は白黒、天然色の場合もある。両方ともみな妥当である。

## 霊的視覚を持つ人たちの原則

### 1 私たちの目的は続けて幻を見ていたイエス様のようになることだ。

(ヨハ19, 20;8:38)

わたしは父のもとで見たことを話しています。ところが、あなたがたは、あなたがたの父から示されたことを行うのです。」(ヨハ8:38)

子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子ども同様に行動するのです。

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子ども同様に行動するのです。(ヨハ5:19)

- ( ) 私はこれを私の人生の目標にする。
- ( ) 私は今このように生きている。
- ( ) このように生きるために、学びたい。

### 2. 幻を見るようにしなさい。

私は、見張り所に立ち、とりにしかと立って見張り、主が私に何を語り、私の訴えに何と答えるかを見よう。主は私に答えて言われた。幻を板の上に書いて確認せよ。これを読む者が急使として走るために。(ハバ2:1-2)

誘惑に陥らないように、目をさまして、祈っていなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。」(マタ26:41)

信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもとめせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。(ヘブ12:2)

- ( ) 私はおもに祈る時、幻を待っている。
- ( ) 私は祈る時、幻を気にしない。
- ( ) 私はこれから祈る時、幻を留意する。

M・E・M・O

3. 幻が始まると終わるときまでよく見る。(ダニ4:10, 13;7:2, 9, 13-16)

私が見ると(ダニ4:10)

私が見た幻、寝床で頭に浮かんだ幻の中に(ダニ4:13)

私が夜、幻を見ていると(ダニ7:2)

私が見ていると、幾つかの御座が備えられ、年を経た方が座に着かれた。[ダニ7:9]

私がまた、夜の幻を見ていると(ダニ7:13)

- ( ) 私は幻が始まると最後まで見る。
- ( ) 私は幻が始まると避ける。
- ( ) 私は祈る時幻を待たないから幻を見たことがない。
- ( ) これから私の中から流れ出る幻をよく注目するつもりだ。

4. 私たちは、私たちの思いの中にある幻を通してイエス様、神様、天使と会うことが出来、このような出会いは本当の霊的出会いです。

I 列王3:5-15、ダニ4:4-5, 10, 4:13-14;7:1, マタ1:20, マタ2:12-13, マタ2:19, マタ2:22)

- ( ) 私は私の思いの中の幻でイエス様を見たことがある。
- ( ) 私は私の思いの幻の中でイエス様を見たことがない。

(5) その夜、ギブオンで主は夢のうちにソロモンに現われた。神は仰せられた。「あなたに何を与えようか。願え。」(15) ソロモンが目をさますと、なんと、それは夢であった。そこで、彼はエルサレムに行き、主の契約の箱の前に立って、全焼のいけにえをささげ、和解のいけにえをささげ、すべての家来たちを招いて祝宴を開いた。

( I 列王3:5-15)

私、ネブカデネザルが私の家で気楽にしており、私の宮殿で栄えていたとき、私は一つの夢を見たが、それが私を恐れさせた。私の寝床での様々な幻想と頭に浮かんだ幻が、私を脅かした。...

私の寝床で頭に浮かんだ幻、私の見た幻はこうだ。見ると、地の中央に木があった。それは非常に高かった。(ダニ4:4-5, 10)

私が見た幻、寝床で頭に浮かんだ幻の中に、見ると、ひとりの見張りの者、聖なる者が天から降りて来た。彼は大声で叫んで、こう言った。『その木を切り倒し、枝を切り払え。その葉を振り落とし、実を投げ散らせ。獣をその下から、鳥をその枝から追い払え。(ダニ4:13-14)

バビロンの王ベルシャツアルの元年に、ダニエルは寝床で、一つの夢、頭に浮かんだ幻を見て、その夢を書きしるし、そのあらましを語った。(ダニ7:1)

彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れなくてあなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。(マタ1:20)

それから、夢でヘロデのところへ戻るなという戒めを受けたので、別の道から自分の国へ帰って行った。(マタ2:12-13)

彼らが帰って行ったとき、見よ、主の使いが夢でヨセフに現われて言った。「立って、幼子とその母を連れ、エジプトへ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を探し出して殺そうとしています。」

ヘロデが死ぬと、見よ、主の使いが、夢でエジプトにいるヨセフに現われて、言った。(マタ2:19)

しかし、アケラオが父ヘロデに代わってユダヤを治めていると聞いたので、そこに行くとどまることを恐れた。そして、夢で戒めを受けたので、ガリラヤ地方に立ちのいた。(マタ2:22)

5. 私たちの心の目を神様に差し出すことは、聖書の物語を祈りのうちに黙想をし、神様が望むとおりに導かれることを許可します。私たちの目と信仰を完全にされる方であるイエスに集中し、私たちに会って下さり、恵みを施して下さることを切に求める。(ヘブ12:1-2, 黙4:1-2)

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。(ヘブ12:1-2)

その後、私は見た。見よ。天に一つの開いた門があった。また、先にラツパのような声で私に呼びかけるのが聞こえたあの初めの声があった。「ここに上れ。この後、必ず起こる事をあなたに示そう。」(黙4:1-2)

- ( ) 福音書を読む間、イエス様と会ったことがある。
- ( ) 福音書を読む間、イエス様と会ったことがない。

M・E・M・O

## 夢の解釈についてのノート

### 私たちの視覚的能力を回復させる神様

ある人は幻がほとんど、或は絶対に不可能なことだと考える。そのように考えるには幾つかの理由がある。主による啓示を通して障害物が何かを知り、また、それらを取り除くためにはどんな段階を踏むべきかを聞く。

次は、私が見てきたよくある問題と解決策です。

#### 問題1) 視覚的なことを軽視し、論理的なことを偶像化する。

この問題を解決するに至り、私たちは

1. 神様が私たちの内に許可された賜物を尊く用いなかったことを悔改める。
2. 論理と認識を偶像化したことを悔改める。
3. 論理的なことを重視したのと同じぐらいに視覚的なことを重視することを約束する。
4. 神様が息を吹いて視覚的能力を回復してくださるように求める。
5. 思いにふけるぐらいに絵とともに過ごすことを練習する。
6. そうするならば、これから人生を生きながら、幻を観察するようになり、心の目を神様にささげるようになる。

#### 問題2) 邪教に陥るのではないかという恐れ

1. 絵を使用して考えることはサタンが人に与えたのではなく、神様が与えたものだ。
2. サタンも人の視覚力を占有しようとするけど、神様もそうであられる。
3. 神様は私たちが視覚能力を使用する時、避けるのではなく、それを続けて、神様にささげることを願っておられる。
4. サタンの模倣品を受けるといふことへの恐れを悔改めて、視覚的力を満たして下さる神様の力を告白する。
5. 恐れることが罪であることを告白する。神様の信仰の賜物を受ける。
6. サタンが私たちの思考過程を攻撃することができるのと同じように、視覚過程も攻撃することができるというのを認め、両方とも神様にささげるようにする。

**問題3)情欲の罪を避けるために視覚的力を除去すること**

1. 情欲を治めるには神様が与えられた視覚的力を除去すること以外の他の効果的な方法がある。
2. 情欲の罪を効果的に治めるために他の方法を適度に適用する。
3. 視覚的力を避けたことを悔改める。
4. 神様が回復してくださり、再創造してくださることを祈ります。
5. 再び使用し出さない。
6. 神様の聖なる幻で満たしてくださいと祈りをささげる。

**問題4)不快な場面を避けるために視覚能力を避ける。**

1. 視覚的感覚を避けるようになった原因を把握し、認める。
2. その場面を主に委ねて、私の内に神様が来られ、神様の愛と全能なる臨在で満たしてくださいようお願いをする。
3. 視覚能力を回復してくださいよう求める。
4. 再び絵と幻を人生で認め、使い始める。
5. 心の目を神様にささげて、満たしてくださいようお願いをする。

**問題5)歪曲されたイメージ**

1. 邪悪な霊が人生に入るようになった罪を悔い改めて、破棄する。
2. 歪曲させる邪悪な霊を叱り、出なさいと命じる。(追い出しの働きについて理解がある方と一緒に祈るようにする。)
3. 聖霊様が臨在して、その場所を満たしてくださいように招く。
4. 聖さのうちにとどまり、イエスキリストの御名によって、他の邪悪な霊の攻撃を打ち破る。

結論的に、上で言及されたことがらが、人々が神様が与えた賜物である夢、幻、想像を効果的に使用することを妨害している。私たちみな、神様が与えて下さった力を十分に使用することを学ぶことを願っている。

M・E・M・O

### 霊的にもっと良く見るための指針

1. 外側より、内側よりの「静けさ」が聖霊様の生きておられるイメージが流れてこられるようにする。どのように静まるかは述べた章を参照して下さい。内面から何か浮んでくる時、幻は中に命があるように浮かびます。(これは聖霊の命です。)
2. 幻を通して聖書的な物語を考えて見ましょう。これがもっとも一般的な方法です。単純に読んでいる物語を想像してください。場面を見るより多くのことができます。神様が見させたいものを見せてくださいと願ってください。神様の導く内面のイメージを見あげる。
3. QTの時間に、心の目を開き、神様が何か見せてくださるのを待ちなさい。イエス様を見上げている中で、御言葉を語られたり、動かれたりして、聖霊のイメージが流れるまで注目していなさい。
4. 他人のためにとりなしの祈りをする時は、祈りの対象となる人のことをイメージで考える。キリストがその人に出会う時のことを考えてみなさい。心を楽にして、聖霊の導きに従って幻が動くようにする。主がなさるのを見て、それが成就するように祈りなさい。
5. 自分の内面の世界の自然的表現であると言える夢に耳を澄ませなさい。神様に夜、話ってくださいようお願いしなさい。詩 127:2 眠りから目が覚めたらすぐに夢を記録し、神様に夢の解き明かしを求めなさい。与えられるはずですが、クリスチャンの夢の解き明かしに関するよい本を読みなさい。'Herman Riffel' という人が書いた夢の内面の知恵(Dream:Wisdom within)をお勧めする。神様との交わりの使役院でもハーマン・リップフェル氏が作成したビデオテープと書物がおいてある。

あなたがたが早く起きるのも、おそく休むのも、辛苦の糧を食べるのも、それはむなし。主はその愛する者には、眠っている間に、このように備えてくださる。

(詩篇 127:2)

6. 霊で祈るならば聖霊との対話が開かれる。特に心の目を神様に委ねるとき、聖霊様が臨まれる。
7. 賛美と礼拝の時間に心の目で歌う歌を通して聖霊さまが望まれる通りに幻を見せてくださるようにしなさい。
8. 聖書に基いた真理なる内容を視覚的に絵として見るように、やってみる。

## 暫定的学びの道具

場面を浮かび上げることは、一部分の人たちだけに必要な暫定的学びの道具である。一般の直感的人はこの道具が必要ない。見ようとすれば、幻が目の前に浮かぶ。論理に重点を置く人たちも、すぐにこの道具なしでも幻を自然に日常的に見るようになるはずだ。

私たちが聖書の文化の中で生きたならば、神様が見せてくださる幻の世界に、自然に、日常的に生きることに障害物が多くなかったはずだ。ヨセフと他のヘブル人たちがそうであったように、朝食のテーブルに座って夢とその霊的意味を分かち合ったならば、私たちの人生で、幻に対する自然的技術を持たせたいと信じている。しかし、アメリカ社会で、だれが夢を深刻に受け入れて、家族が集まった場で、それを話題として登場させるでしょうか。おそらく珍しいでしょう。もし、私たちがそのようにしたら、ちょっと狂った人扱いされることでしょう。私たちの文化において、幻についての無知に対して驚く必要があるのではないだろうか。

釣り合いがとれた人生についての私たちの理解が、この時代の合理主義によって歪曲されることを許可したことについて教会は悔改めなければいけない。ある人は、今日のキリスト教の教えに東洋哲学の影響が及んではいないかと懸念している。神様は私たちに論理的思考を下させた時、ただ本に挟んでおくためではなく、幻を下させた時も、私たちの無視によって消えさせるために与えたのではない。他の人たちがそのような態度を持つようにさせたのである。

教会は、父がしておられることを見、聞くまでは、何もしておられなかったイエス様のような、釣り合いのとれた人生を回復するべきである。(ヨハ 5:19-20, 30,8:26, 28, 38) 私がそのような釣り合いがとれた人生を歩むようになるまでにどんなに苦労したのかを皆さんと分かち合っている。皆さんも皆さんに合う方法を見つけることを望んでいる。垂れ幕は裂かれた。通っていくことが出来る。聖霊様との交わりが可能である。招待に応じますか。道を見つけるつもりですか。垂れ幕を越えて、神様と直接出会いたいと願っていますか。それともその方が書かれた本を通して間接的に経験することで満足しますか。

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子も同様にを行うのです。(ヨハ5:19)

わたしは、自分からは何事も行うことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めます。(ヨハ5:30)

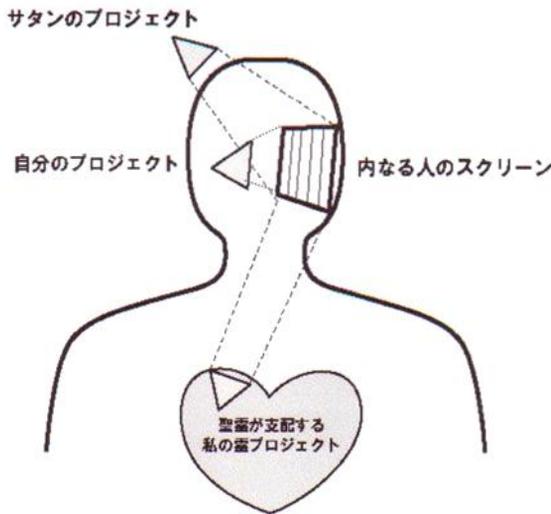
M・E・M・O

わたしには、あなたがたについて言うべきこと、さばくべきことがたくさんあります。しかし、わたしを遣わした方は真実であって、わたしはその方から聞いたことをそのまま世に告げるのです。」(ヨハ8:26)

28 イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げてしまうと、その時、あなたがたは、わたしが何であるか、また、わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知るようになります。」

38 わたしは父のもとで見たことを話しています。ところが、あなたがたは、あなたがたの父から示されたことを行うのです。」

### 私たちの内面の画面—三つのプロジェクト



1. サタンが私の思考の目に与えるあらゆる絵を除去します。
2. 私の心の目を満たしてくださいと主に祈ります。受ける準備をします。
3. 聖霊様が願っておられる幻を私の内面の画面に照らしてください。

(黙4:2)

たちまち私は御霊に感じた。すると見よ。天に一つの御座があり、その御座に着いている方があり(黙4:2)

イメージが自分から、サタンから、それとも神様から来るのかを分別する方法

自身	サタン	神様
源を判明しなさい。(霊を試しなさいヨハ4:1) イエスがヨハネよりも弟子を多くつくって、バプテスマを授けていることがパリサイ人の耳にはいった。それを主が知られたとき、		
思いから来る絵を描く	過ぎていく思い 思いがポーとしている状態か イメージが妨害されているか	内面の深いところから絵が流れるように？ 内面が主に向かって静かに集中されていたか？
内容を試しなさい(Ⅰヨハ4:5) 彼らはこの世の者です。ですから、この世のことは語り、この世もまた彼らの言うことに耳を傾けます。		
自分が学んだのを書く	否定的、破壊的、強圧、恐れ、そして、神の属性に逆らう、神様の御言葉に相反する、試されることを恐れる、自我を引き立てる	教え、徳を高める、慰める、 幻を試しても咎められるところがない。
実をみなさい。(マ7:15-20) 15 にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。 16 あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからはいちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。		
さまざま	恐れ、衝動的、束縛、躊躇、混沌、大きな自我	信仰が強くなる、力、平和、良い実、悟り、知識、謙遜

偶像化することと思いにイメージを映すことの差違

	偶像	イメージ
誰が許可するの	人(出32:1) 民はモーセが山から降りて来るのに手間取っているのを見て、アロンのもとに集まり、彼に言った。「さあ、私たちに先立って行く神を、造ってください。私たちがエジプトの地から連れ上ったあのモーセという者が、どうなったのか、私たちにわからないから。」	神様(出25:8-22, コロ1:15, ヘブ12:2) コロ1:15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。ヘブ12:2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもとめせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。
目標	偶像礼拝(出32:8) 彼らは早くも、わたしが彼らに命じた道からはずれ、自分たちのために鑄物の子牛を造り、それを伏し拝み、それにいけにえをささげ、『イスラエルよ。これがあなたをエジプトの地から連れ上ったあなたの神だ。』と言っている。」	イメージを決して拝まない。神様と共にするための道具に過ぎない(黙4:1) その後、私は見た。見よ。天に一つの開いた門があった。また、先にラツバのような声で私に呼びかけるのが聞こえたあの初めの声があった。「ここに上れ。この後、必ず起こる事をあなたに示そう。」
活動	偶像はじっとしている(イザ44:19) 彼らは考えてみず、知識も英知もないので、『私は、その半分を火に燃やし、その炭火でパンを焼き、肉をあぶって食べた。その残りで忌みきらうべき物を造り、木の切れ端の前にひれ伏すのだろうか。』とさえ言わない。	神様との交わりが流れる(黙4:2) たちまち私は御霊に感じた。すると見よ。天に一つの御座があり、その御座に座している方があり、
祈り	偶像に祈禱(イザ44:17) その残りで神を造り、自分の偶像とし、それにひれ伏して拝み、それに祈って『私を救ってください。あなたは私の神だから。』と言う。	決してイメージに祈らない、聖なる自然な流れのように、神様との対話を持つ。
目的	事物を拝む(イザ44:15) それは人間のたきぎになり、人はそのいくらかを取って暖まり、また、これを燃やしてパンを焼く。また、これで神を造って拝み、それを偶像に仕立てて、これにひれ伏す。	神様に心をささげる(Ⅱコリ3:18; 4:18) 3:18 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。 4:18 私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。
態度	頑固、高ぶり(出32:9) 主はまた、モーセに仰せられた。「わたしはこの民を見た。これは、実にうなじのこわい民だ。」	へりくだって神様を求める(箴2:1-5) 1 わが子よ。もしあなたが、私のことばを受け入れ、私の命令をあなたのうちにたくわえ、2 あなたの耳を知恵に傾け、あなたの心を英知に向けるなら、3 もしあなたが悟りを呼び求め、英知を求めて声をあげ、4 銀のように、これを捜し、隠された宝のように、これを探り出すなら、5 そのとき、あなたは、主を恐れることを悟り、神の知識を見いだそう。
調整しようとする	神様を調整: 魔術(Ⅰ列王22:20-23) 20 そのとき、主は仰せられました。『だれか、アハブを惑わして、攻めらせ、ラモテ・ギルアデで倒れさせる者はいないか。』すると、あれこれと答えがありました。21 それからひとり、の霊が進み出て、主の前に立ち、『この私が彼を惑わします。』と言いますと、主が彼に『どういふふうにするのか。』と尋ねられました。22 彼は答えました。『私が出て行き、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります。』すると、『あなたはきつと惑わすことができますよ。』	神様の御ワザを注視して見る(黙4章-22章)

## 適用一靈的日記(主との会話の内容を記録する)

主に次の質問を尋ねます。「主よ、私の心の目を使用することがどれくらい重要ですか。私はそれをどのように使用しているのでしょうか。私がどのように使用することを望んでいますか。」心を楽にして、見慣れている福音書の一場面のように、イエス様と共にガリラヤの海を渡ることとか、ユダヤの荒野を渡っていることを想像してみてください。主を見上げてください。その方の愛とあわれみ、そしてその方が私と共にいることのゆえに喜び、興奮しているのを想像してみてください。笑ってください。子どものようにその方の手を握ってください。聖霊様が導くままに、場面が変わるようにしてください。即興的感覚を敏感に受け取り、主が与える答えを書きとめてください。受ける時は疑わないで、子どものような単純な心で受けてください。その流れが終わった後でも試す機会がたくさんあります。「主よ、おっしゃってください感謝します。」



#### カギ4

### あなたの祈りの題目と 神様の答えに対して書く霊的日記

霊的日記の記録形式が聖書三箇所て明白に示されている

霊的日記を書くことがあなたの祈り生活で重要な理由:

1. あなたが祈った内容を後に点検する事が出来るということを知っているから、信仰によって記録することに自由が持てる。
2. 何箇所だけの節句を受けるのではなく、全体のページに達するぐらいのメッセージを受けることができる。
3. あなたの心が集中するので、妨げを受けない。
4. 長い時間が過ぎた時でも、あなたが受けたメッセージを思い起こすのに役立つ。
5. 待っている間、忍耐できるように助ける。

霊的日記と無意識的な記録(automatic writing)の差違

無意識的な記録をする時はある霊があなたの手を調整するけど、霊的日記を書く時はあなたの心の中には神様によって形成された思考の自然的な流れがある。それで、あなたはそれらをあなた自身の調節のもとで記録することが出来るようになる。

霊的日記の作成のための実際的な提案

1. 霊的日記はあなたの体と霊が起きている時にのみ記録されるべきである。
2. 自由帳を使用しても良い。手で書くのよりタイピングするほうが楽ならば、それでも良い。ある人の場合は車の中で録音機を使って神様と交わりを持っている。
3. 霊的日記ノートを人々が簡単に目に付かないところに良く保管し、必要であれば暗号を使っても良い。文法やスペリング等のことは重要ではない。
4. 霊的日記を作成する度、日付を作成しなさい。
5. 霊的日記に、神様との交わり、夢、それらについての解釈と、神様から与えられる幻、イメージ、それからあなたにとって重要な個人的な感情、事件など(怒り、恐れ、傷、失望、喜び、感謝)を含めなさい。

M・E・M・O

6. 神様は靈的日記を作成することを通して、あなたが信仰と希望と愛(こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。Iコリ13:13)に対して自然に集中出来るようにしてくださるはずである。気楽に考えなさい。
7. 聖書についての知識をたくさん備えることで、あなたが靈的日記を作成する時に、神様がそれらの知識を用いられるようにしなさい。
8. 靈的日記を作成するに至って、ある構造を加えたいという人たちの場合、神様からあなたに、定期的に祈ってあげるようにという思いが与えられた人たちと、靈的日記の最初の何章かにかけて項目を書いても良い。
9. 靈的日記を作成し始めた時、あなたが持っている質問を単純に考えるのではなく、記録しなさい。このような単純な行動が神様の答えを促進させることに大きく役立つはずである。
10. 靈的日記を作成する方法を学びながら、それがあなたの人生で根ざすまで毎日作成したいと願うはずである。
11. 神様がおっしゃられたことを記録し、あなたのことばを記録する場合、或はそれと反対に作成する場合には、一行を開けなさい。こうしておけばあなたが書いたのを後で読むとき役立つはずである。
12. 次の靈的日記を作成する前に、以前に書いた日記の内容をもう一度読みなさい。こうすれば、あなたが前に聞いた神様の御言葉(rhema)に対して従順したのかどうかを確認するのに役立つはずである。
13. 私はノート一冊がいっぱいになった時や神様が私に与えて下さった重要な主題を簡易要約する時は、靈的日記全体をもう一度読むのである。私は要約したものを次の靈的日記用ノートの最初の部分に記録保管している。
14. 私が主に、とある日付について質問する度に、その日付が常に正しくなかったということを見つけたのである。したがって、そのように要請することを止めたのである。私は日付を知りたがることは呪術と関連があると考えている。
15. 神様があなたに与えられた権威と責任の領域の中で靈的日記を作成しなさい。この領域ではほとんど誤差なく正確なはずである。このような領域を定期的に外れるということは傲慢の霊が侵入したことの証拠となりうるのである。

## 危険—警告！

M · E · M · O

霊的日記を作成することは個人的な預言に当たることである。従って、教訓(あなたを建てること)と、勧告(あなたがある特定の 방식으로生きるように励ますこと)、そして慰めという預言の範囲の中であなたは霊的日記を作成するべきである( I コリ14:3)。結局は、神様の御声を聞くことのもっとも重要な目的は、その方とあなたの関係を建て、深めることにある。霊的日記を書くとき、この目的を常に心に刻み付けなさい。私と他の人たちがこの焦点から外れて、あることを事前に知らせるといふ預言のような領域に関して、または私たち自身や他の人たちの人生に現れる特定の行動に対する特定の結果などを記録する時、多くの過ちが起こるのを私(私たち)は発見したのである。どの人が癒やされるのか、決別した配偶者が戻ってくるのか、職場の問題が解決するのかわどかといったことの記録がこれらの例に含まれる。神様は霊的日記を通じて、結果はともあれ、私たちが安息し、信じ、信頼するようにと言われるのである。そして私たちが信じて信頼するがゆえに、私たちは神様の超自然的な恵みが私たちと他の人々の人生での働く機会を拡大化させるのであり、私たちが否定的なことでいっぱいになっていないがゆえに、人生はやっていけるものとなるのである。そのために神様は私たちが信仰へと呼んでいらっしゃる。そして、この方は続けてそのようになさるはずである。けれども、私はあなたの有益のために、特定の行動に対する特定の結果や後に起こる出来事については記録しないように提案する。そのようなことは預言の職務を受けた人たちに任せなさい。(エベ4:11)この視点から私たち大半は「預言の霊」(黙19:10)や「預言の賜物」( I コリ12:10)を持って働きを遂行すべきである。

ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。( I コリ14:3)  
 こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。(エベ4:11)  
 そこで、私は彼を拝もうとして、その足もとにひれ伏した。すると、彼は私に言った。「いけません。私は、あなたや、イエスのあかしを堅く保っているあなたの兄弟たちと同じもべです。神を拝みなさい。イエスのあかしは預言の霊です。」(黙19:10)  
 ある人には奇蹟を行う力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。( I コリ12:10)

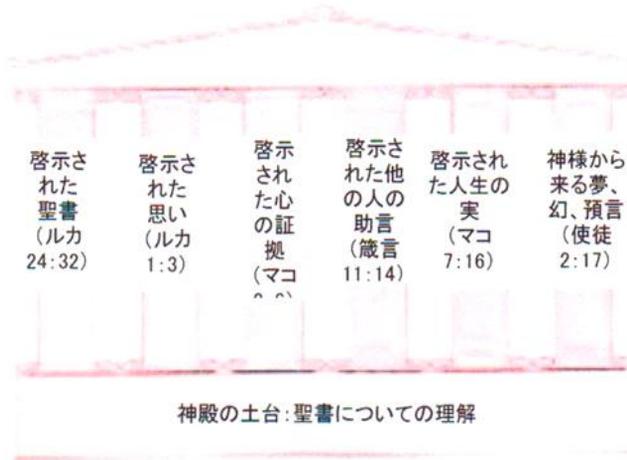
M・E・M・O

## 広まった合理主義を何によって満たすのか

聖書の六つの柱によって建てられる真理の新しいパラダイム

### 指導者のパラダイム

真理を討論し、決定するにあたって、六つの柱の上に建てられる。



重要な事は、各柱のバランスを維持することである。

1. 私の聖書的知識はどうですか
2. 神様が下さった賜物はどんなものがありますか

### 六つの柱

#### 1. 啓示された聖書

そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明して下さった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」(ルカ24:32)

#### 2. 啓示された思い

私も、すべてのことを初めから綿密に調べておりますから、あなたのために、順序を立てて書いて差し上げるのがよいと思います。尊敬するテオピロ殿。(ルカ1:3)

3. 啓示された心の証拠

彼らが心の中でこのように理屈を言っているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて、こう言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんな理屈を言っているのか。(マコ2:8)

4. 啓示された他の人の助言

指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。(箴言11:14)

5. 啓示された人生の実

あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。(マタ7:16)

6. 神様から来る夢、幻、預言

『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。(使徒2:17)

六つの柱をさまざまな状況でバランスよく適用すること

1. 人間関係について相談するときは聖書と日記のほうに重点を置く。
2. 結婚や引越し等のことで話す時は、心の平和、他人の助言、私の体験。

すべての預言は人の反応による条件が付いている。

(エゼ33:13-16, エレ18:7-10)

13わたしが正しい人に、『あなたは必ず生きる。』と言っても、もし彼が自分の正しさに拠り頼み、不正をするなら、彼の正しい行いは何一つ覚えられず、彼は自分の行った不正によって死ななければならない。14 わたしが悪者に、『あなたは必ず死ぬ。』と言っても、もし彼が自分の罪を悔い改め、公義と正義とを行い、15 その悪者が質物を返し、かすめた物を償い、不正をせず、いのちのおきてに従って歩むなら、彼は必ず生き、死ぬことはない。16 彼が犯した罪は何一つ覚えられず、公義と正義とを行った彼は必ず生きる。(エゼ33:13-16)

7わたしが、一つの国、一つの王国について、引き抜き、引き倒し、滅ぼすと語ったその時、8 もし、わたしがわざわざを予告したその民が、悔い改めるなら、わたしは、下そうと思っていたわざわざを思い直す。9 わたしが、一つの国、一つの王国について、建て直し、植えると語ったその時、10 もし、それがわたしの声に聞き従わず、わたしの目の前に悪を行うなら、わたしは、それと与えると言ったしあわせを思い直す。エレ18:7-10)

### 聖書的モデル—ハバクク

#### 内面を静かにして、主の御言葉を聞くこと

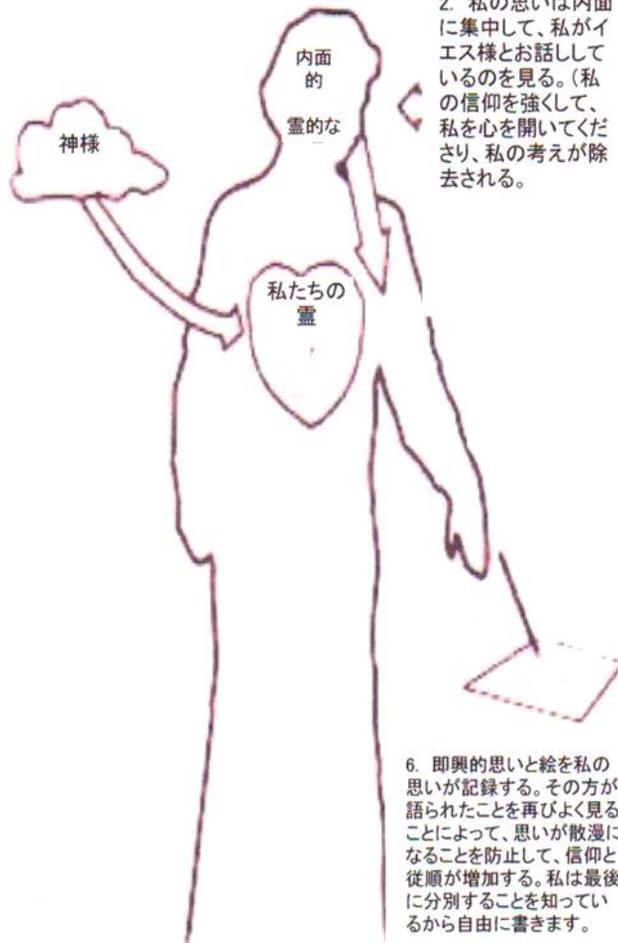
1. 主の臨在の中で自分自身を静める。礼拝や霊の賛美や聖書を黙想する。私の外側が静まって、内面が静まると、主の前にいる私の心は空っぽになっている
3. 主が主の思いを聖霊様を通して私の心へ与えてくださる。

9 まさしく、聖書に書いてあるとおりです。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」10 神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。(1コリ2:9-10)

4. その方の霊が私の霊と一つになる。

しかし、主と交われば、一つ霊となるのです。(1コリ6:17)

5. 聖霊から来る即興的思いが私の心から思いへと伝わる。
7. 神様の御声を聞こうとする時は、それ以外宇宙をよく見ようとするのではなく、霊の内面に集中する。
8. ある時は記録していて、新しい概念や単語に引っ掛かり、思いがそちらに陥ろとする時があるが、私は再びイエス様に集中する。人の思いは聖霊の前に行き、不従順を引き起こす時がある。私が主に集中するなら、その方が私に正しい単語と思いを心に入れてくださる。



6. 即興的思いと絵を私の思いが記録する。その方が語られたことを再びよく見るによって、思いが散漫になることを防止して、信仰と従順が増加する。私は最後に分別することを知っているから自由に書きます。